



俳句大会・奉納俳句大会の部（兼題は『梅』）
と き 2月12日（土）受付 10：00～12：00
ところ 大仁神社境内
投句料 2句1組 500円（何組でも可）

俳句大会・当日句の部（兼題は『梅』）
と き 2月13日（日）受付 9：30～11：30
ところ 大仁公民館
投句料 梅および囀目 2句1組 1,000円（1組のみ）

梅お散歩ラリー
と き 2月12日（土）受付 10：00～10：30
ところ ひまわり保育園大仁分園
対 象 健康で、一人で歩ける人ならどなたでも参加可
参加費 500円（おおひと笑店会商品券 500円付）
定 員 200人（定員になり次第締切）
申込み方法 氏名・年齢・住所・電話番号を明示して電話かFAXで観光協会にお申し込みください。

おおひと梅まつり

と き 2月12日（土）・13日（日）
 10：00～15：00 雨天決行
ところ **大仁梅林**および**大仁神社境内**
内 容 こども創作能、雅楽と神楽、詩吟、大正琴、尺八、民謡、津軽三味線、野点、屋台、甘酒無料サービス（梅林内）

同時開催

梅まつり写生コンクール（テーマ『梅』）
と き 梅まつり開催中
 （2月13日は12：00まで）
対 象 小学生以下
参加費 無料
その他 用具（画板・クレヨン等）は貸し出します。金賞の作品は、来年度のポスターに使用されます。

梅まつり写真コンテスト（テーマ『大仁梅林』）
と き 2月12日（土）・13日（日）
対 象 どなたでも参加可
参加費 無料
参加方法 四つ切サイズに印刷された写真（大仁梅林を撮影したもの）を2月11日（金）までに観光協会へ郵送、または梅まつり開催中（2月13日は12：00まで）に大仁神社へ持参してください。

おおひと梅まつり・能楽鑑賞会の問合せ 伊豆の国市観光協会 ☎ 055-948-0304 FAX 055-948-5151

てくもぐウォーク

大仁梅林と城山桜の花めぐりウォーク

大仁梅林や狩野川堤防に植えられた城山桜をみてまわる、花めぐりなウォーキングです。一足早い春を探しにいてみませんか？

と き 2月20日（日）
 大仁駅受付 9：30～11：00
 所要時間 2時間 30分
コース 大仁駅（スタート）～大仁梅林～三福梅林～伊豆洋らんパーク～大門橋～神島橋～狩野川堤防（城山桜）～大仁駅（ゴール）
参加費 無料（交通費・弁当代等は各自負担）
申込み 伊豆半島花&てくもぐウォーク実行委員会（伊豆急行 鉄道部内）
 ☎ 0557-53-1116 ＊当日受付も可

参加
無料

能楽鑑賞会

チケット
発売中！

敷居が高いと思われるがちな能の世界を気軽に学べる鑑賞会です。どれも魅力的なメニューばかりです。実際に身体を動かしながら、能の世界に触れてみましょう。

入場料 500円 チケット販売中（電話予約可）
生活に根付いた文化としての能

と き 2月6日（日） 13時30分～
ところ 京急ホテル

能楽健康セミナー 能舞メデイーション
と き 2月19日（土） 13時～
ところ おおとり荘

ワキから見る能世界
と き 2月27日（日） 13時～
ところ 陶芸の宿はなぶさ

＊各回 1時間～1時間半程度

MY
ワタシノアルグミチ
WAY

梅林整備の報酬は『楽しさ』

金子 佳史さん（大仁）

おおひと梅まつり実行委員長

「と」のまじや、マズイ。おおひと梅まつりを

創設から支え続けてきた実行委員長・井川弘仁さんが急逝して数カ月、荒れ放題になった大仁梅林を目の当たりにして、金子さんはみんなに訴えました。

「井川君とは、同じ中学の先輩後輩で、消防団や商工会青年部も一緒にやった仲。彼が残したものをそのまま埋もれさせるのは忍びなかった」そうやって、梅林整備の先頭に立った金子さんは、ほどなく新しい実行委員長に就任しました。

まず着手したのは梅林の草刈り。そして、秋には梅まつりの準備にとりかかりました。

「実行委員長をやってみてつくづく思ったのは、イベント準備には、とてもたくさんの方の協力が必要だということ。少ない予算をより効率よく活用するため、ボランティアの力も大いに借りるし、当日の演者の出演

料を食券支給にしよう、意味のない無料配布をやめようなど、多くの改革を進めています」。

人手が必要なのは当日も同じ。実行委員会では、広報1月号などでボランティアスタッフの募集も呼び掛けました。

「実行委員会のスタッフには、誰一人、報酬としてお金をもらっている人はいません。でも、みんなが地域を盛り上げようと『楽しんで』やっている。それが何よりの報酬ですね」と金子さんは笑います。そして、大仁梅林の魅力を熱く語ります。

「観光客を中心に話題になってきている大仁梅林ですが、市民の皆さんで梅林を知らない人は、まだまだたくさんいます。熱海や月ヶ瀬まで足を伸ばす前に、ぜひ地元にある素晴らしい梅林を訪れてみてください」。

2月12日・13日は、5分咲きの大仁梅林で、金子さんが皆さんを待っています。